

県北の富岡町さくらサロンで坂本さんにお会いしました。もともと福島市の出身の坂本さんは、震災の日、一度川内に避難し、その後実家の福島市に行き、現在はご主人、義母、息子と4人で生活しています。結婚前は東邦銀行にお勤めで、同じ職場のご主人と職場結婚して富岡町へ。家業の種苗店を手伝いながら、やがて花も取り扱うようになっていきました。当時のことを伺うと、「初めのうちは売れずに処分することも多く、種を買いに来た方に差し上げることも多かった」と、懐かしそうに話してくれました。震災前には従業員が6名も働くようなお店になっていました。今はその従業員さん達とも離れ離れですが、全員と連絡が取れて、時々無事を確かめ合っているそうです。「自分の人生は自分で切り開くしかない、じっとしていても始まらないから」と話す坂本さんは、現在、カラオケ、レクダンス、ストレッチと、忙しい毎日を送っています。カラオケで練習中の坂本冬美の「桜の如く」の曲も夜の森で力強く咲く桜を思いながら練習しています。「決めた道なら 迷いはしない 牙をみがいて明日を待つ 口惜し涙を心のばねに 不借身命ひとすじに 行くが人生人の道」という歌詞に自身の気持ちが重なってくると話されていました。畑も始めて、今年の夏はひまわりを百本植えてひまわり畑を作った…という笑顔は、「ひまわり」そのものでした。



坂本喜久枝さん

おらほの自治会長 このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。いわき地区広域自治会さくらの会 会長 面川 岩海さん

富岡に住んでいたころは、畑で野菜作り、海や川で釣り、そして山で山菜採りと自然豊かな環境で活動的な生活をしてきた面川さん。そんな面川さんは、役場、社協の仕事の後、民生委員として地域活動にも意欲的に取り組んでおられました。現在も自治会の活動を行いながら、避難先で暮らしている住民の声に応えたいと、精神的に活動なさっておられます。今はじっとしていても何も始まらないと、自治会長としても「ここから住民の輪を創り明るく暮らせるようにし、絆を強めていきたい」と話す面川さん。そのためには体が資本と、時間があるときは、ウォーキングをして健康維持にも心掛けていますと笑顔で話して下さいました。 ※さくら会入会希望の方は、いわき市平サロン(TEL:050-3608-2864)まで、ご連絡下さい。



面川 岩海さん

みんなの広場 このコーナーでは、町民のみなさんの詩、俳句、短歌、写真、手作品などの作品を紹介します♪



つるし雛制作後、記念撮影

三春町の柴原萩久保応急仮設住宅の談話室で、月に1回つるし雛作りが行われています。材料はみなさんで出金を出し合って購入し、みなさんで教え合いながら楽しく作っています。この日は「唐辛子」作りが行われていました♪



作品「唐辛子」

いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー

内容 BrownRice Concert～富岡わが町～

日時 11月9日(金)
開場 9:30
開演 10:00～12:00
開催場所 おだがいさまセンター
出演 ブラウンライス



内容 ピンクリボンカフェ in郡山

日時 11月24日(土) 12:30～16:30
開催場所 ビッグバレットふくしま コンベンションホール
定員 250名様
入場無料(要予約)



※参加ご希望の方は、郡山市の各仮設(富岡、南一丁目、緑ヶ丘)内集会所、絆カフェ富岡、おだがいさまセンターにある申し込み用紙に必要事項をご記入の上、(株)コスモアトリエ宛にFAX、またはおだがいさまセンターまでお持ちください。

喫茶つづき 主催:おだがいさまセンター

- おだがいさまセンター 11月1日、8日、10日、15日、17日、22日、24日、29日
毎回午前10時～12時
南1丁目応急仮設集会所(富岡側) 11月3日、5日、6日、10日、12日、13日、17日、19日、20日、24日、26日、27日
毎回午前10時～午後1時
みなさん気軽に お茶を飲みに来てください!(^-^)

発行 富岡町生活復興支援おだがいさまセンター (社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内) 連絡先 024-935-3332

みてやっぺ!

富岡をつなげ～「富岡町民電話帳」完成!～



完成した電話帳を手に☆ 富岡町議会議員から祝辞をいただきました

表紙絵の作者、池田信雄さん(写真左)とNTTタウンページの方々 発行記念式の参加者と報道陣の方々

電話帳発行にあたってのお知らせ

- 電話帳作成にあたっては、町民のみなさんへ掲載の可否に関する意思の確認を行いました。
電話帳の複写、譲渡、転売など行わないよう取扱いにはご注意ください。
紛失・破損等による再配はできませんので予めご了承ください。
電話帳作成には最新の注意を払い作業を行いましたが、誤字・脱字・落丁、その他不具合がありましたら、お手数おかけ致しますが「富岡町生活復興支援おだがいさまセンター」(024-935-3332)までご連絡ください。
不審な電話にご注意ください。
電話を受けたとき、「なにかおかしい」と不審に思うことや心配に思うことがあれば、ご自分の家族や親戚又は警察に相談してください。

町から委託を受けて「おだがいさまセンター」で今年5月から作成作業を進めてきた「富岡町民電話帳」が遂に完成し、10月23日付で町民のみなさんに発送されました。電話帳の中身をご覧いただけたでしょうか。

発行を記念して、10月23日(火)に「富岡町民電話帳発行記念式」が「おだがいさまセンター」を会場に開催されました。記念式では、遠藤町長の式辞にはじまり、宮本町議会議員、「富岡町民電話帳」の編集・印刷・発行について無償でご支援いただいた、「NTTタウンページ株式会社」の岩清水営業本部長にご挨拶いただきました。会場には町議会議員のみなさん、行政区長会長、仮設住宅や借上住宅の自治会長など、多くのご来賓のみなさんにお集まりいただき、「おだがいさまセンター」の天野センター長の経過報告、電話帳担当者からの内容や使い方の説明を熱心に聞いておられました。

みなさんに配布された「富岡町民電話帳」は、富岡という絆をつながりたいという、情報をお寄せいただいたみなさんの「想い」が沢山詰まった電話帳です。この電話帳が、町民のみなさん同士の横のつながりを回復・維持してくれる存在になってくれること、少しでも多くのみなさんの「希望」となってくれることを願っています。



富岡町民電話帳

「富岡町民電話帳」の特徴

- 「50音順」「地域順」と2種類の方法で掲載しています。
→「50音順」は名前から調べる場合に、「地域順」は、自分の住んでいる地域に他にどんな人が生活しているか調べる場合にご活用ください。
「名前」「住所」「電話番号」の他に「郵便番号」「行政区名」を掲載しています。
→ハガキや手紙などを出す際に、郵便番号を調べる必要がありません。
→同姓同名の方がいる場合に、行政区名から判断できる他、自分が住んでいた行政区の人がどこにいるのか調べる場合にもご活用できます。

ROADプロジェクト情報交換会in飯坂

10月9日(火)飯坂温泉平野屋旅館で、平成24年度ROADプロジェクト主催の情報交換会が開催されました。24団体33名の参加者に、主催者からは「今までで一番の参加者数」との話があり、午後1時から始まった会はあっという間に終了時間の5時を迎えました。「被災地や被災者を支援する団体」は全国各地から集まり、現状と課題を次々と報告しましたが、どの団体も制限時間ではおさまらない内容でした。

ガレキ撤去、被災地の児童の保養支援、支援のための助成事業、行政・企業・民間団体間連携促進など、多岐にわたる支援の実情と共に、助成事業資金の中長期的な展望のなさ、ボランティア人員の減少などの不安材料も出され、皆それぞれの課題を語り合う中で、今後の連携が必要不可欠であることを確認しました。富岡町からは、「おだがいさまセンター」と「こども未来ネットワーク」が参加し、現状の厳しさを感じると共に、全国からのエールを暖かく受け止めてきました。

**Topics!** 「富岡の空へ」～感動を発信!!～

10月17日(水)7時から、郡山市ミュージカルがくと館大ホールで音楽朗読劇「富岡の空へ」が上演されました。この劇は、富岡町からいわきに避難している佐藤 シゲ子さんの詩集「原発難民の詩」を青木 淑子さんが(おだがいさまセンターアドバイザー)脚本を書き朗読劇にし、郡山市内のアマチュア劇団のメンバーが演じました。劇中には、富岡高校の講師として町の行事などでピアノを演奏していた四家 昌博さんの(現在、仙台白百合女子大学講師)演奏も入り、朗読と音楽とのコラボレーションによる舞台は観客の心を引きつけました。シゲ子さんが震災からの日々を表現した詩は、避難生活を送る富岡町民はもとより、郡山市民の心も揺さぶり、約200名の観客で埋まった会場は感動で包まれました。観劇後のアンケートには、「忘れてはいけないことを思い出させてくれた。」「避難している人々の苦しさがあった。」という郡山市民、「懐かしさと悲しさに思いつきり泣い



朗読劇講演のようす

たらすっきりした。「ああ一人じゃないと思った」という富岡町民、「富岡町の町長が最後まで見ていたのに感心した」といった記載もあり、「混乱の時こそ、文化活動が人をつなぐ」という青木さんの挨拶が実感できる公演でした。この演劇はできるだけ様々な場所で上演したいと青木さんも作者の佐藤シゲ子さんも考えているとのこと。これからこの感動が広がっていくことを願います。

かしわ餅づくり～さくら会富岡IN柏崎～



柏崎市でも元気で頑張っています

とってもいい笑顔♪

9月21日(金)、新潟県の「柏崎市西山町二田コミュニティセンター」で、柏崎市にお住いの方々で構成されている富岡町民の会「さくら会富岡IN柏崎」のみなさんが参加して、かしわ餅づくりなどの交流会が行われました。今回は笹団子作りの先生や地元の方も招いて地元柏崎の方との新たな絆も生まれた交流会となりました。みなさん一生懸命で手際も良く、楽しく作業をしていました。

災害復興学会で工房をPRしてきました!



PRしてきました

10月6,7,8日に日本災害復興学会ふくしま大会が、コラッセふくしまを会場に開催されました。災害復興に関する研究発表、最終日には平野復興大臣の講演やシンポジウムがあり、福島復興について議論が深められました。このような大きな大会で、おだがいさま工房のメンバー3人が、工房のPRをしてきました。研修で作製した、セイタカアワダチソウなど草木で染めたスカーフなどを用意しPRを行うと、たくさんの方が興味を持ち、製品について熱心に聞いて下さいました。購入したいという声もあり、自信と今後の意欲につながるよい機会となりました。

FM便り ～新番組「としみのとしみ」放送中!～

おだがいさまFM(周波数76.9MHz)では10月から、毎週水曜日午前11時から11時30分まで「としみのとしみ」という番組を放送しています。

富岡のご出身で「TOKYO No.1 SOUL SET」や「THE ZOOT16」のボーカルとして、そして「猪苗代湖ズ」のメンバーとしてもご活躍されている、渡辺俊美さんが担当しています。

番組では、俊美さんの音楽や富岡に対する熱い思いや、子どもの頃の話が聞ける他、俊美さんの楽曲も沢山お届けしています。

「町民のみなさんに話しかけるつもりで番組を進めています。元気が出るような番組にしたい」という、俊美さんの思いが詰まった放送を是非お楽しみ下さい。



渡辺 俊美さん

郵便 〒963-8041 郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛 / FAX 024-935-3334  
メール 右記「おだがいさまFM」HP内のメールフォームより送ってください…「おだがいさまFM」HPアドレス <http://odfm.net/>

市民活動交流フェスタに参加しました。



チーム富岡「さくらYOSAKOI」

10月13日(土)、郡山市にある総合福祉センターで市民活動交流フェスタが行われ、交流スペースでは、絆カフェ富岡とおだがいさまセンターが、双葉町、川内村の皆さんと一緒に参加しました。また、イベントのオープニングでは、郡山市内のよさこいチームと共に、チーム富岡「さくらYOSAKOI」が元気いっぱい踊りを見せてくれました。「さくら」をテーマにした笑顔での演舞に、会場は大盛り上がり。富岡のブースでは、避難先で趣味や特技を活かしてつくった編み物やかご、バック、つるし飾りといった手作りの作品が販売され、会場に集まったたくさんの方にも好評でした。



おだがいさまセンターのブースです

手作りの作品が並べました

富岡町囲碁クラブ

富岡町文化交流センター「学びの森」で活動されていた「富岡町囲碁クラブ」は、毎月第2水曜日、南一丁目急仮設住宅集会所で活動しています。避難前は約15人の会員で活動していましたが、現在は4名の会員で活動を再開しています。代表の金子徳吾さんは「会員を増やしていきたい」とお話しされているように、これまで会員でなかった方の参加も大歓迎ということです。興味のある方は、下記のご連絡先までお問い合わせください。



是非仲間に入ってくださいね!

問合せ:富岡町囲碁クラブ 佐野 喜久男さん(090-7025-7262)

シタールコンサート

10月4日(木)12時からおだがいさまセンターでインドの楽器シタールのコンサートがNPO ハートネットふくしまさんのご支援で開催されました。演奏して下さったのは、世界的にも有名なシタール奏者キョール・ゴージュ氏。インドの曲のほか「私の大好きな日本の曲です。」と日本語でお話しされ「四季の歌」「荒城の月」なども演奏して下さいました。幻想的なシタールの音色に、集まった皆さんは聞き入っていました。最後には「幸せなら手をたたこう」の曲を、会場の皆さんと歌いながら手拍子しながら一緒に歌い、楽しい時間を過ごしました。



異国情緒たっぷりの演奏

おだがいさま工房便り

工房では、染め織りだけではなく、染め織りから製品を作る「仕立て」という工程が必要になり、現在はミシンを使って、ポーチやトートバッグを作っています。まずミシンに慣れることを目指していますが、回数を重ねるごとに上達していくのがわかります。だんだんと一枚の布がカタチになっていくのは、とても楽しく達成感があります!



いよいよ製品として形に慎重に作業をすすめています

おだがいさまファーム通信



食べごろです!

収穫が楽しみです

つい先日まで暑い日が続いていたのに、10月に入ると「もう冬?!」と感じてしまう今日この頃。秋の短い、中通りの気候にちよっぴり寂しさを感じるのは私だけでしょうか?しかし、畑の野菜にとっては「待てました涼しい毎日!!」とばかりに、畑の野菜はぐんぐん生育中です。11月には収穫祭も計画中です。みなさんも畑仕事一緒にやってみませんか?畑隊に入りたい方ご連絡お待ちしております。(おだがいさまセンター 024-935-3332 担当遠藤・松本・梅津)